

日本言語政策学会（JALP）第19回研究大会
社会構造の変化と言語政策
—多様な参画者による持続可能な社会のアクションプランに向けて—

日時 2017年6月17日（土）～18日（日）
場所 関西大学千里山キャンパス・100周年記念会館（大阪府吹田市）
参加費 会員および学生 1,000円、非会員 2,000円

第1日 6月17日（土）

12:00 受付 (3階エントランスホール)

13:00～13:20 開会式 (2階ホール1)

- 開会の辞 宮崎里司（日本言語政策学会会長）
- 会場校あいさつ 奥和義（関西大学副学長）

13:20～14:20 基調講演 (2階ホール1)

- 「南」の移民たちが出会う —22世紀に向かう多文化コミュニケーション—
峯陽一（同志社大学）

14:30～17:00 全体シンポジウム (2階ホール1)

日本の社会構造の変化と言語教育政策
—外国人児童生徒への言語教育施策を中心に—

- 外国人児童生徒に対する教育支援施策の課題について
木村哲也（帝京大学）
- 日本の外国人児童生徒に対する言語教育施策のあり方を考える
バトラー後藤裕子（ペンシルベニア大学）
- 在日ブラジル人児童生徒の発達障害について —なぜ日本人児童生徒と比べ
多い（ように見える？）のか—
柴崎敏男（NPO 法人国際社会貢献センター）
- 子供の貧困と学力格差—外国人児童生徒に注目して—
青砥恭（NPO 法人さいたまユースサポートネット）
司会・討論者：木村哲也

17:30～19:30 懇親会 (3階レストラン紫紺)
会費 4,000円

第2日 6月18日(日)

9:30 受付開始

(3階エントランスホール)

10:00~11:30 一般研究発表

(2階各会場)

第1会場

(2階ホール1)

- マイノリティ言語に対するポーランド共和国のステータス計画 その内容と問題点 貞包和寛(東京外国語大学・院生)
- タタール・ディアスポラに見る少数民族語保持の可能性 ―中央アジアのタタール人の事例から 中村瑞希(筑波大学・院生)
- 独立後のラトヴィアにおける「無国籍者」問題 竹内大樹(神戸大学・院生)
司会：臼山利信(筑波大学)

第2会場

(2階ホール2)

- マルタの小学校における複言語教育 その挑戦と課題 大澤麻里子(東京大学)・小川敦(大阪大学)・境一三(慶應義塾大学)
- 外国にルーツを持つ子どもたちへの言語教育支援：日本のバイリンガル・サポーターへの調査から 大山万容(京都大学/立命館大学)
- 日本における多言語環境での言語教育観 ―韓国人家庭のライフストーリーから見えること― 金ボラ(京都大学・院生)
司会：杉野俊子(工学院大学)

第3会場

(2階第1特別会議室)

- 言語教育における国際化政策 「グローバル人材育成」実践の比較研究 森山美雪(ダラム大学・院生)
(発表取消)
- 小学校国語教育における「ことばの市民」形成の場作りの可能性 横田和子(目白大学)
司会：嶋津百代(関西大学)

第4会場

(2階第4・5会議室)

- 中華人民共和国における方言番組をめぐる政策の変遷及び展望 小田格(公益財団法人大学基準協会)
- シンガポールにおける生涯学習としての語学教育動向―コミュニティクラブの語学教室から― 岡本佐智子(北海道文教大学)

- 観光施策にみる言語観—言語政策はあるのか 山川和彦 (麗澤大学)
司会：オストハイダ・テーヤ (関西学院大学)

10:30~11:30 ポスター発表 (2階展示ロビー)

- 民衆教育と国語統一の相克 —1913年の読音統一を巡る議論—
赤桐敦 (京都大学・院生)
- 言語権立法としての「日本語教育推進法案」の課題
杉本篤史 (東京国際大学)
- 1964年東京オリンピック開催時の外国語政策 藤井久美子 (宮崎大学)
- 韓国留学生のライフストーリーにみる英語使用体験 英語話者としての自己
の構築 中山亜紀子 (佐賀大学)

13:00~13:30 総会 (2階ホール1)

13:30~15:20 第1分科会、第2分科会、学会間交流セッション

第1分科会 (2階ホール1)

言語法は言語を保障するのか —手話を例に—

- 趣旨説明 佐々木倫子 (桜美林大学)
- 言語法と言語の保障 渋谷謙次郎 (神戸大学)
- 日本手話の解放運動とろう教育への影響力
中島武史 (大阪府立中央聴覚支援学校)
- 韓国手話言語法は手話を保障したか
崔榮繁 (DPI (障害者インターナショナル) 日本会議)

第2分科会 (2階ホール2)

メディアと言語政策

- メディアとしての教科書・教材を考える 岡本能里子 (東京国際大学)
- 日本の小学校国語科教科書における非連続テキスト
森篤嗣 (京都外国語大学)
- 歴史の教科書から「外国語」の教科書へ —「視点を変える力の育成」を目指
して— 杉谷眞佐子 (関西大学)

海外研究者の言語・言語政策研究の最前線から考えるグローバル化

- English in the Language Policy: Multilingualism and World Englishes
Yangsoon Kim (Hanbat National University)
- Some Issues of Gender-sensitivity in natural languages: Another look at the Interfaces of socio-linguistics and the Narrow Grammar
Pak, Chanin & Hong, Sungshim (Chungnam National University)
- Simple Past versus Present Perfect in English Tense/Aspect: the Roles and the Contributions of Adjunct Phrases to Meaning in Second Language Acquisition
Sungshim Hong & Jinhee Han (Chungnam National University)
- Language management in Jeju: With a special attention to Jejueo, the Jeju language
Changyong Yang (Jeju National University) & Yongjin Koh (Cheju Halla University)
司会：高民定（千葉大学）

15:30～17:20 第4分科会、第5分科会、第6分科会

第4分科会

（2階ホール1）

「高大接続」から見た複数外国語教育の課題

- 分科会の趣旨と目的
上村圭介（大東文化大学）
- 教育改革と外国語教育
山崎吉朗（一般財団法人日本私学教育研究所／
一般社団法人日本外国語教育推進機構）
- 外国語教育の入試の現状と課題—英語以外の外国語の入試—
中川慎二（関西学院大学）
- 高等学校における第二外国語教育の現状—課題と提案
寺尾美登里（大阪府立松原高等学校）

第5分科会

（2階ホール2）

観光接触場面におけるツーリスト・トーク —『やさしい英語』と『やさしい日本語』—

- 司会・問題提起
加藤好崇（東海大学）
- 観光接触場面における「やさしい英語」使用のすすめ
藤田玲子（東海大学）
- 観光場面と〈やさしい日本語〉
庵功雄（一橋大学）
- 「観光装置・観光資源」としてのやさしい日本語
森直人（株式会社電通）
- 「やさしい言語」が生み出す観光接触場面における「ふれあい」と「おもてなし」
—ポライトネス理論の観点から—
宇佐美まゆみ（国立国語研究所）

第6分科会

(2階第1特別会議室)

少数言語話者に対する持続可能な言語・教育施策 ―日本・豪州・パラオ・インドの事例

- 在日ブラジル人二世世代の教育の現状と展望 杉野俊子 (工学院大学)
- 多文化社会に揺れる移民先進国の言語政策：オーストラリアの市民権テストをめぐる課題を中心に 宮崎里司 (早稲田大学)
- パラオにおける言語政策とその実践状況 岡山陽子 (専修大学)
- インドの少数言語の保持活動と変革 野沢恵美子 (東京大学)

※発表プログラムは変更される場合があります。

その他の会場

大会本部	(2階第1会議室)
休憩&交流スペース	(2階第3会議室)
ポスター展示	(2階展示ロビー)
書籍展示	(2階ロビー)
講師控室	(2階第6会議室)

(2017年5月1日公表、5月20日修正)